

# メディカルツーリズムと 医療通訳を考える みんなのシンポジウム



日時:2010年10月24日(日)午後1時30分~午後4時  
30分(開場午後1時)

場所:西宮市大学交流センター大会議室(阪急西宮北口下車 ACTA 東館6F)

定員:120名(要申込)

資料代:1000円 (医療通訳研究会(MEDINT)2010年度会員 無料)

主催:医療通訳研究会(MEDINT)

共催:大阪大学グローバルCOEプログラム「在日外国人を取り巻くコンフリクトを緩和するシステム構築」班(研究代表者:中村安秀氏)

## プログラム

基調講演「タイにおけるメディカルツーリズムの現状」

座長:中村安秀氏 大阪大学大学院人間科学研究科 国際協力学・教授

基調講演者:ソムアツツ・ウオンコムトオン氏 タイ王国・バンコク病院院長  
(逐次通訳 竹迫和美氏)

提案1 「中国人患者の医療に対する考え方と医療行動」

田中健一氏 北京天衛診療所歯科医師(北京在住)

提案2 「日本における医療通訳資源の活用について」

飯田奈美子氏 多言語コミュニティ通訳ネットワーク共同代表 中国語通訳

シンポジウム 「日本におけるメディカルツーリズムと医療通訳を考える」

座長:松尾信昭氏 神戸夙川学院大学観光文化学部教授

## 申し込み方法

申し込み方法:メールかFAXで必要事項をご記入の上お申し込みください。

必要事項:所属先・名前・ご連絡先(ご住所・メールアドレスかFAX)

申し込み送付先:医療通訳研究会(MEDINT) [medint2005@yahoo.co.jp](mailto:medint2005@yahoo.co.jp)

FAX:078-230-3060

このシンポジウムは(公財)兵庫県国際交流協会の国際交流事業助成制度を受けています。

## シンポジスト略歴（登場順）

**ソムアツツ・ウォンコムトオン氏 (Prof. Som-arch Wongkhomthong)** タイ王国・バンコク病院 院長 1950年タイ中部のナコンサワン県生まれ。1968年から日本に留学。75年東京大学医学部卒業。日本の医師免許を取得後、東大外科や日本医科大学救命救急センターでの研修を経て、米国ハーバード大学公衆衛生大学院に留学。タイに帰国後、マヒドン大学アセアン健康開発研究所(AIHD)所長、マヒドン大学教授などを務め、現在バンコク病院の院長。96年にはアジア人として初めて、東京大学医学部教授(国際地域保健学)を務める。

**中村安秀氏** 大阪大学大学院人間科学研究科 国際協力学・教授。1952年和歌山県生まれ。77年東京大学医学部卒業。都立府中病院小児科、東京都三鷹保健所などを経て、86年からJICA 母子保健専門家としてインドネシアに赴任。以後も、パキスタンでアフガン難民医療に従事するなど、途上国の保健医療活動に積極的に取り組む。東京大学小児科講師、ハーバード大学公衆衛生大学院研究員、東京大学医学部国際地域保健学助教授を経て、99年10月より現職。「国際協力」「保健医療」「ボランティア」をキーワードに、学際的な視点から市民社会に役立つ研究や教育に携わっている。国際保健、子どもの発達、在住外国人医療など興味をもっている分野は広いが、どこの国にいても子どもがいちばん好き。

**竹迫和美氏(財)** 日本国際協力センター(JICE)で英語・スペイン語の非常勤監理員として登録し、国際協力事業(主に医療関連の事業)に従事。東京外国語大学大学院国際コミュニケーション・通訳専修コースで修士号取得。現在大阪大学大学院人間科学研究科国際協力論の博士後期課程に在学し、医療通訳の調査・研究に専念。医療通訳士協議会(JAMI)の設立時より事務局長。日本遠隔医療学会遠隔医療通訳分科会長

**松尾信昭氏** 神戸夙川学院大学観光文化学部教授。救急医・総合診療医。国際緊急援助、アメリカ巡回診療、NPO活動などを通じて海外で医療支援を行う。現在、神戸夙川学院大学にて旅行医学や救急医療、障がい者旅行論などの講座を担当。観光文化と医療をキーワードとして研究している。

**田中健一氏** JICA 専門家。北京天衛診療所で医療顧問のかたわら、JOMF 巡回健康相談(タイ、ドイツ、フィリピン、マレーシア)派遣歯科医師として海外在住の邦人から歯科相談に携わる。

**飯田奈美子氏** 京都市福祉事務所中国語通訳者。北京の日系ホテルに就職。日本に帰国後、京都市で中国語通訳として勤務し、医療などの対人援助場面における通訳環境が整っていないことに問題意識を持ち、2006年秋に多言語コミュニティ通訳ネットワークを設立した。現在、立命館大学大学院先端総合学術研究科博士後期過程に在籍し、コミュニティ通訳についての研究を行う。

共著:『医療通訳入門』連利博監修 松柏社 第一部2章担当